

夏の残暑もやわらぎ、高茶屋大垣内遺跡では、発掘調査がどんどん進んでいます。現在調査をしている M 区では、古墳時代や奈良時代の竪穴建物が複数見つかっています。古墳時代の竪穴建物の周りには溝が掘られ、雨水などを排水できるようになっています。また、竪穴建物の中央は熱を受けて土が赤くなっています。これは当時の人々が火を焚いた痕跡であり、そこで調理をしたり暖をとったりしたとことがわかります。一方、奈良時代の竪穴建物からはカマドの跡がみつかっています。カマドの周辺からは当時の炊飯道具である甕やコシキ（蒸し器）の破片が多く出土し、当時の調理方法がよくわかります。

→
古墳時代
（4世紀）
の竪穴建物



←
奈良時代
（8世紀）
の竪穴建物
（赤い部分がカマド）

問い合わせ先

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

三重県埋蔵文化財センター 担当：樋口

電話： 0596-52-7028 FAX： 0596-52-7035